

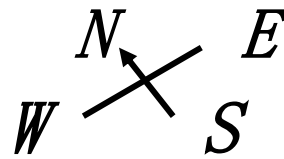
藤 沢

エコネット

藤沢環境運動市民連絡会
(略称) 藤沢エコネット

2019年9月1日

第304号



主
な
記
事

- ・「沈黙の春を生きて」を観て
- ・藤沢母親大会にご参加を
- ・パラオ 大統領との約束・福島訪問記
- ・長崎平和学習引率者として参加

<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

☎ / F A X 0466-87-4922

生・死を考える 戦中と いま

「おれは天皇陛下のために死ぬんだ。」と故白崎勇次郎少年が、村のわんぱくたちに宣言。それを耳にしたおばあちゃんが白崎少年を物陰に呼んでこう話したそうです。「死ぬとか生きるとかいうことは、ゆっくり考えるもんだ。子どものおめえが、今から言うことじゃねえ。ゆっくり何度も何度も考えたあとで言うことだ。」

ぼくの少年時代は、本屋に出るのを待ち構えて読んだ「少年倶楽部」。少年たちの進路として「幼年学校」「士官学校」「(海軍)兵学校」、そして「少年航空兵」「少年戦車兵」「少年通信兵」…と、やたらに少年がつく学校の紹介や案内が掲載されていた。そこで得た知識をもとに中学(現在の都立新宿高校)1年生で幼年学校を受けた。戦争ではたくさんの将校や兵隊が死ぬ、その中の一人がぼくだが、天皇の命令で死ぬのだから名誉の戦死だ。薄っぺらな考え方だった。

戦後、M男さんと市内辻堂のS夫さんをたずねた日のこと。ぼくはS夫さん夫人に質問してしまった。「ご主人の戦死は暗黙の了解事項。晴れやかな恋愛も結婚式もないままに、奥様は軍人の妻として殉死を考えられていましたか。」一瞬沈黙…。「私も殉死を考えました」と奥様。同席していたS夫さんが「あの時 実際の話。真夜中、青森港を出た潜水機の艦は2隻。1隻は無事で、俺と同期の友達に乗った1隻はやられてしまった。戦死の知らせが届くと俺たちと同じような結婚間もない彼の奥さんは、殉死してしまわれたんだったよなあ。」とうつむいた。

猛暑日の続く8月、安倍政権-文科省体制下での「道徳教育」とどう対応するかの全国交流会に参加した。w校の教師グループが「子ども一人一人の問題から進めている。」「いま、私のふしあわせは」について話題を文字カードにする。(小学校5年生担任)※文字カード例「朝起きなければいけないこと」「年を取っていく事」などなど。黒板に貼りだされた全員の話について、みんなで意見を出し合うという進め方。

ぼくはw校の先生に「こんな子たちと付き合っていて、楽しいでしょ。」と聞いてみたら、はずんだ返事が返ってきた。「毎日が発展発展で苦しいこともあるけど、でも楽しい。学校にいたことが楽しくなってくる。」だって。

保坂治男



ホテイアオイの花
薄紫色、たった1日で萎んでしまう花

藤沢 母親大会にご参加下さい

母親大会は「いのちを生みだす母親は 生命を育て 生命を守ることをのぞみます」を合言葉にしています。
いのちを生みだした父親も参加して下さい。

1957 年アメリカがビキニ環礁で行った水爆実験で被災した第五福竜丸の久保山愛吉さん。「原水爆による犠牲者は、私で最後にして欲しい」この遺言が母親大会のきっかけになりました。今年の日本母親大会は第五福竜丸の故郷焼津で開催されました。

平和への道しるべとしての母親大会。国連での核兵器禁止条約の批准の前進にも関わらず、安倍政権の改憲の動きに目が離せない今、「ストップ」をかける大会にしていくことが大切と思っています。

今年、藤沢でも 45 回目の母親大会が 9 月 14 日市民会館で開かれます。

午後の全体会ではいのちの源、「食」がテーマです。「あふれる輸入農産物で私たちのからだと日本の農業は守られるのか？」食料自給率、種子法撤廃、関税の撤廃などを多古町旬の味産直センターの小林由紀夫さんを講師にして話し合われます。食をテーマにしていますが根底には、憲法を生かしての主権国家の在り方が問われているのではないのでしょうか。

午前は 3 つの分科会に分かれて話し合われます。

- ① 基地建設から考える地方自治
- ② デリバリーでない自校方式による中学校給食の実現を
- ③ 海を汚染し人の健康を脅かすマイクロプラスチック

母親大会は思想・信条をこえていろいろの立場の人が集まり話し合うことで、明日への生きる勇気を培い、安心して暮らせる平和な社会を願うひろばです。

ぜひご参加ください。 (吉鶴美智子)



福島・相馬・飯館訪問記

7 月 25 日、26 日に福島を 3 年ぶりに訪れました。
福島の子どもたちとともに・湘南の会が招いた親子の帰りのバスに添乗しての訪問でした。

7 月末というのに梅雨が明けず、曇り空の中、放射能測定器を携え、25 日は福島駅周辺を歩きました。

駅近くの福島共同診療所（甲状腺検査を原発事故後続けている）を訪ね、日曜日も診療して被災者支援をしている事、全員県外の医者で、原発事故による被害の真相に迫っている事などお聞きしました。

福島駅前イトーヨーカドーの駐車場端の草地の放射能が 0.35 マイクロシーベルト ($\mu\text{Sv/h}$) には驚きました。福島駅前は 0.087 なのに、5 分と歩かない所がその 4 倍です。ちなみに藤沢は 0.03~0.05 $\mu\text{Sv/h}$ 位ですからその 10 倍です！ 福島市のお母さん方が、子ども達に『外で遊ばない様に、葉っぱに触らない様に』と注意しているという話に納得です。



(相馬中村神社)

26 日は午前中、相馬市教育委員会を訪ね、リフレッシュ募集チラシ配布のお礼と継続のお願い、子ども被災者支援法の話をしました。その後相馬野馬追の出発会場・相馬中村神社を見学、

大きな旗がひらめいていました。

午後は湘南の会顧問の糸長先生と飯館村で合流し、放射能汚染のため、いつ農業再開できるか不明の実験農場を見学しました。オカボやネギなど広く耕されていましたが、イノシシやサルに荒されるそうで、周囲は金属網で囲んでいました。葉物は比較的放射能は低いけれど、養蜂の蜜はとても高いとの事でした。

飯館村の元気な栄子おばさんにお会いし、仲間との味噌づくりの話を聞きました。若夫婦は飯館村に戻ってこない、孫にもなかなか会えないけれど、生まれ育った故郷に帰り、元気そうでした。

3 世代一緒に暮らしていた家族は、今はバラバラに核家族となり、生活基盤も失われ、原発事故の罪深さを想いました。 (青柳節子)

「沈黙の春を生きて」を観て

5月の『モルゲン明日』、7月『花はどこへいった』に続く、坂田雅子監督シリーズ第3弾『沈黙の春を生きて』の上映会がエコストアパパラギ(鶴沼石上1-3-6)で開催されました。

本作は、1962年に出版され多くの議論を呼んだレイチェル・カーソンの名著『沈黙の春』から始まります。アメリカ国内で化学物質の恐ろしさが告発される一方、ベトナムでは1961年から1975年までの長きにわたり、アメリカ軍による枯葉剤作戦が展開されました。

冒頭からずっと作品世界に吸い込まれます。枯葉剤の影響で大きな障害を抱えて生きる人たちが、それぞれの境遇を語る、その姿を観ているうちに、まるで自分がその場に居合わせているような感覚に陥りました。その臨場感ゆえ、スクリーンに映し出される、人々の苦しみや悲しみ、希望や愛情に満ちた声や表情のひとつひとつに胸打たれ、あっという間に87分が過ぎました。濃厚な時間でした。

本作品には、自分の境遇を受け入れ、障害と向き合うだけでなく、苦しみを抱えた他の人たちに手を差し伸べる人たちが多く登場します。その崇高な姿に深い感動を覚えただけでなく、大きな勇気ももらいました。自分以外の誰かの幸せを祈り、寄り添い、手を差し伸べ、行動する勇気。「あなたももっと頑張って」と言われた気がしました。

上映後、会場からの質問に丁寧に答える監督。厳しい世界から目を逸らさずに進み続ける監督の凛々しさも印象的でした。

本作は、この世界を少しでも良い場所に、次世代へ繋ぐ責任を担う、全ての大人にお勧めしたい、素晴らしい作品です。

今回は、最新作の『わたしの、終わらない旅』。9月18日(水)の午後2時と6時半の2回上映。坂田監督が核の時代とその未来を問う旅に出ます。完全予約制とのこと。

ご興味ある方は、エコストアパパラギまでお問い合わせを
(0466-50-0117)。

(藤岡みどり)



長崎平和学習に引率者として参加して

例年、「藤沢市平和の輪をひろげる実行委員会」は「核兵器廃絶平和都市宣言」をしている藤沢市の委託を受け、市内の小・中・高校生を対象に長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典への参列、被爆跡地の見学、長崎青少年ピースフォーラム参加等の平和学習を実施している。



この平和学習参加に応募のあった児童・生徒たちから選抜した39人の子供たちを引率し、昨年に

引き続き今年も8月7日から4日間、長崎へ。

ピースフォーラムでは異なる学校、異なる学年の子どもたちが共に行動し考え意見を交わすこともまた子どもたちの世界を広げる一助になったことだろう。

核軍縮に逆行する動きが目立つ現在の世界情勢の中、今年11月には、ローマ教皇フランシスコが広島・長崎を訪問する予定で、広島・長崎から平和と核兵器廃絶のメッセージを世界に発信されることが期待されている。ローマ教皇フランシスコは、2017年11月バチカンで開催された国際的な核軍縮会議「核兵器のない世界と一体的な軍縮のための展望」での演説の中で、次のように述べた。「核兵器は見せかけの安全保障を生み出すだけだ。核兵器の偶発的爆発の危険性を考慮すれば、核兵器の使用と威嚇のみならず、その保有そのものも断固として非難されなければならない。この点で極めて重要なのは、広島と長崎の被爆者、ならびに核実験の被害者の証言である。彼らの預言的な声が、次世代への警告として役立つよう願っている」

今回、私の班の生徒たちは平和学習報告会のテーマに「被爆した小学校」(城山小学校と山里小学校)を選んだ。自分たちと同じ世代の子どもたちを襲った悲劇について、展示物や案内人の方のお話を聴くことにより、戦争の悲惨さ、平和の尊さを学ぶことが出来たことと思う。子どもたちがこの経験を活かし、より良い世界を築く為に、まずは自分の周りから戦争の実像を伝えていくことを願っている。

(寄稿 市平和の輪をひろげる実行委員会副代表 田中章)

パラオ 大統領との約束

屋根を突き抜けるんばかりの豪雨など地元の人も経験したことがないというほどおかしい天気が続いています。台風や熱低の足が遅いのは、明らかに温暖化、海水温上昇等によるものと感じています。今朝パラオ共和国大統領から連絡がありました。以前から手紙等で提案していたダイバーによる“魚の餌付け”行為に関して国として、禁止条例等を制定して欲しいという提案に耳を傾けて頂けるという事です。歴代の大統領では最も若い トミー・レメンゲサウ JR 大統領は、環境問題への意識が強く、熱心に話を聞いていただいた上、議会での提案の機会を設定することを約束して下さいました。



(大統領府にて)

(世界遺産ロックアイランド)

トミー・レメンゲサウ大統領は世界で最も大がかりな海洋保護法などを制定したことで知られています。

しかし、激増する中国からの観光客によるダイビングやスノーケルでの魚の餌付け行為は自然の生態系に激しい負荷を与えます。いくら注意してもやめない！との事、欧米諸国では常識になっている禁止法令、罰則等の実効性のある策が必要です。同時に、隣人である中国人への蔑視を助長することにも注意が必要です。

彼らの行為は、業者によるものであり海外に進出する中国資本や業者らによる「今だけ、金だけ、自分だけ」という姿勢が問題なのです。何より、海外で仕事をする機会が多かった自分にとって、日本も同じような事をしていた（もっと恥すべき行為？）姿を見てきました。

太平洋の島々で起きていること。まさに世界の縮図であるといえるのです。

(太平洋航海中 2018年6月 武本匡弘)

ECONET INFORMATION

▲第45回 藤沢母親大会

記念講演「人間の体と日本の農業～あふれる輸入農産物」

小林由紀夫さん（多古町旬の味産直セクター）

分科会「プラスチックさんさようなら」ほか2つ

9月14日（土）9:30～ 藤沢市民会館

主催：第45回実行委員会 後援：藤沢市 ￥500

▲ピースリングバスツアー 募集

平和の大切さや核兵器の恐ろしさを伝える施設などを見学します

① 10月5日（土）埼玉の「原爆の図・丸木美術館」、
「第五福竜丸展示館」400円

② 10月19日（土）「明治大学平和教育登戸研究所」
キャンパス各所に戦争につながった史跡あり。
「川崎平和館」150円。

9月13日（金）申し込み締切り。各25名。

25-1111(内線)2134、fax (50) 8436、

Email fj-jinkendanjo@city.fujisawa.lg.jp

▲館野鉄工所米軍機墜落事故慰霊・市民のつどい

9月23日（祝）14:00-16:15

場所 大和・桜丘学習センター101号

特別報告 滝本太郎弁護士

ほかに お話し、映画等あります

主催 館野鉄工所墜落事故慰霊実行委員会



▲藤沢エコネットから

◆会員募集 年会費・購読料→2000円

ゆうちょ銀行 (9900) 店番 (029)

当座預金 0046501 77 サイネット

◆事務局会議 9月9日（月）10:00～

プラザむつあい

《編集後記》10月から消費税が10%に増税という。現在8%の水道水は10%になるが、同じ飲む水でもミネラルウォーターは8%。軽減税率が適用されるというが、内容は分からないことばかり。ポイント還元??…。スマホ決済?? なぜこんなに分かりにくくするのか?。駆け込みで購入の家電製品も多いという。今からでも増税を止められないものか。社会保障のための増税というが、その裏では法人税の減税分が穴埋めされるのはご存じだろうか。

(H)